

平成27年度第6回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要

開催日時	平成 27 年 11 月 30 日 16 時 ~ 16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、伊藤、浅野、家崎、坂(敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	萩野 由里絵
研究名	「慢性期失語症者の環境音による喚語能力について」
研究内容 要旨	擬音語や擬態語として用いられるオノマトペは、近年研究報告は複数されてはいるが、失語症における環境音についての研究は少ない。 今回の研究として、環境音に関して長角理解と語想起能力をオノマトペ使用時と比較し臨床に活かせるようにしたい。
審議結果	条件付承認(確認は委員長一任)
意見	研究計画書に、研究機関の長への報告内容及び方法について記載する。 説明書に、研究対象者等の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨並びにその入手又は閲覧の方法について記載する。 本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。
新規研究計画の審議	
申請者	山中 元樹
研究名	当院入院・通院患者に対する歩行支援機ACSIVEの使用効果
研究内容 要旨	歩行機能の低下した患者に対してアクシブを装着しての歩行を行うことで歩行機能を主とした身体機能にどのような変化があるかを検証するとともに、より詳細な適応を明らかにすることを目的とした。
審議結果	差し戻し
意見	研究実施申請書、計画書、説明書を所定の書式のものを用いて書き直す。 研究の概要、共同研究機関による役割分担、共同研究機関における倫理審査の状況等について記載する。
新規研究計画の審議	
申請者	中村 佳世
研究名	認知症患者とのコミュニケーション方法
研究内容 要旨	認知症患者と看護師のコミュニケーションの困難さと対応において、バリデーション、パーソンセンタードケア方法を用いて、認知症患者の気持ちに共感し看護を定驚できるよう、看護師の意識改革に取り組み、看護師自身が認知症患者に対応する考え方・意識を改善し、言動を変化させることが出来るか調査し実施したいと考えた。
審議結果	書類審議の結果、承認いたしました。
新規研究計画の審議	
申請者	川村 皓生
研究名	通所リハビリテーション利用者の生活活動度の関連因子について
研究内容 要旨	通所リハ利用者における生活活動度の関連因子について、精神・社会機能を含め総合的に調査し、さらに、生活活動度の違いによる1年後の要支援・要介護度判定の変化について検討することを目的とする。
審議結果	書類審議の結果、承認いたしました。

新規研究計画の審議	
申請者	山下 令子
研究名	慢性期病棟に勤める看護師の職務満足度とストレスについて
研究内容 要旨	慢性期病棟では患者の状態が固定され変化が少ない。退院も難しく、看護師のモチベーションを保つにはどうしたらよいか。 職務満足度を高める策として、病院の上層部からの制策ではなく、現場看護師の支店から、看護師はどのようなことで満足度が増し、やりがいを感じるのか、傾向を知ること で対策を考案したいと思い、調査を実施したいと考えた。
審議結果	書類審議の結果、承認いたしました。
新規研究計画の審議	
申請者	水谷 真康
研究名	「当院、回復期リハビリテーション病棟入院患者のバランス能力と日常生活機能の関係」
研究内容 要旨	回復期リハビリテーション病棟に入院される患者は脳梗塞や下肢骨折などにより、コ バランス能力に低下をきたしている症例が多いが、日常生活機能との関係性は不明確な てんが多い。 本研究の目的は、回復期リハビリテーション病棟入院患者の入院時と退院時の静的及 び動的バランス能力と日常生活機能との関係を調査し、バランス能力の低下が日常生 活機能に与える影響を検討することである。
審議結果	書類審議の結果、承認いたしました。
新規研究計画の審議	
申請者	水野 圭祐
研究名	当院コミュニティプールを1年間継続利用している利用者に対する身体機能の変化について
研究内容 要旨	2015年2月に「当院コミュニティプール利用者に対する、利用満足度と心身機能に関 する調査」を実施し、利用者の満足度と運動機能、身体特性を把握した。今回は、その 追跡調査として、前回の研究対象の中で、1年間継続利用している者を対象として再 度調査し、利用者の1年間の身体機能の変化を調査し、今後の運用について考案し、 地域の高齢者にコミュニティプールの利用を勧めていきたい。
審議結果	書類審議の結果、承認いたしました。